

## 公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

代表者氏名	太幡 直也 (たばた なおや)	所属	愛知学院大学 総合政策学部
研究会等名称	欺瞞的コミュニケーション研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数            会員 9名（うち認定心理士 1名）            非会員 2名</p> <p>2) 集会等の目的・成果等            本研究会は、欺瞞や隠蔽など、欺瞞的コミュニケーションに関する研究に関心のある研究者が、研究発表、議論を行うことを目的として、2011年9月に発足した。本年度は以下の研究集会を実施した。            なお、これまでの活動内容の詳細は、研究会のホームページ (<a href="http://drt.secret.jp/index.html">http://drt.secret.jp/index.html</a>) に掲載した。</p> <p>&lt;第18回研究集会（2021年3月27日）&gt;            新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、研究集会の方法をZoomによるオンライン研究集会に変更した。本年度は、以下の研究報告があり、自己欺瞞と関連のある転換的語り直しの効果について議論を行った。</p> <p>題目：実行注意は転換的語り直しを促進するか？—短期的縦断調査による検討—            発表者：佐藤 拓（明星大学）・池田和浩（尚絅学院大学）            概要：ある出来事を原記憶とは異なる形で言語化することを転換的語り直しと呼ぶ。先行研究からは、転換的語り直しによって語り直した方向に記憶変容が生じる、つまり、ある種の自己欺瞞が生じることが報告されている。ただし、この転換的語り直しを促進する要因についてはこれまでに明らかになっていない。今回、転換的語り直しに関連する要因として実行注意を取り上げ、その関連を短期的縦断調査によって検討した。また、転換的語り直しの副次効果として、メンタルヘルスに与える影響も同時に検討した。</p> <p>&lt;書籍：隠す心理を科学する（仮）の執筆&gt;            欺瞞的コミュニケーション研究会の会員を中心に、これまでに行った研究集会の発表成果をまとめた書籍の執筆を行った（編者：太幡直也・佐藤拓・菊地史倫、北大路書房より2021年8月刊行予定）。「隠す心理」をキーワードに、対人コミュニケーション、発達、記憶、生理反応、動物の欺瞞等を網羅した幅広い内容になった。さらに、各章で執筆された研究内容に関する今後の展開を議論した「紙上討論」を加えた。            以上の書籍を刊行することで、研究集会の発表成果を社会に還元できると考えられる。</p> <p>&lt;将来計画&gt;            来年度も引き続き、公開研究集会を開催する予定である。また、上記の書籍を刊行する予定である。</p>		

## 研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
研究集会開催日： 2021年 3月 27日(土)				
	氏名	所属	会員	認定 心理士
1	佐藤拓	明星大学	<input type="radio"/>	
2	菊地史倫	公益財団法人鉄道総合技術研究所	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3	池田和浩	尚絅学院大学	<input type="radio"/>	
4	田口恵也	名古屋大学大学院教育発達科学研究科	<input type="radio"/>	
5	奥村 晴	関西学院大学文学部		
6	三浦 雄馬	東京工業大学		
7	熊谷智博	法政大学	<input type="radio"/>	
8	向居 晓	県立広島大学	<input type="radio"/>	
9	村井潤一郎	文京学院大学	<input type="radio"/>	
10	田中未央	敬愛大学	<input type="radio"/>	
11	武田美亜	青山学院女子短期大学	<input type="radio"/>	
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

(様式5)

2021年 3月 26日

日本心理学会研究会2020年度会計報告書

研究会名称 欺瞞的コミュニケーション研究会

研究会番号 20018

助成金額 ￥30,000

年 月 日	項 目	金 額
2021年3月26日	返金（日本心理学会）	￥30,000

支出合計 ￥30,000